

癒しの庭園



庭園を上町台地と隣接した位置に造る。上町台地の緑と連続させることで、ボリュームがある植栽に見せる。人々に癒しを与え、涼しさを感じさせる。

境内のような安らぎ空間



アスファルトの舗装を石畳や土に変え、さらに木々を植えることで温熱環境の改善を図ると共に、ヒューマンスケールの街路空間を取り戻す。

石畳+手洗い場



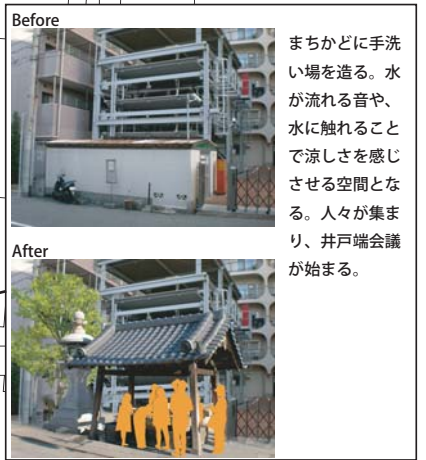
石畳には段差がある。その段差に、手洗い場から流れ出す水を流す。石畳は保水性舗装と同じような働きをし、水の気化熱により路面の温度は下がる。



凡例

- 庭園
- 石畳
- 手洗い場
- 信号「木」
- 五重塔
- 金堂

涼を感じさせる水辺



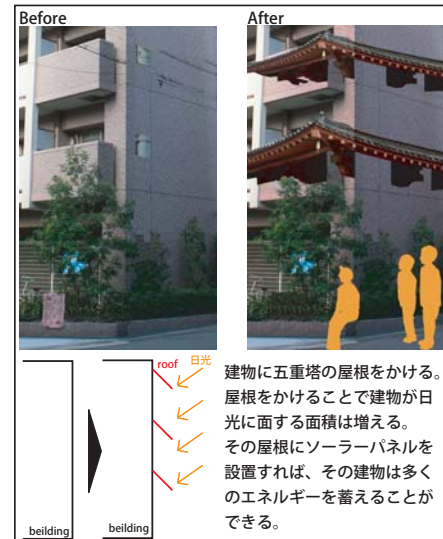
まちかどに手洗い場を造る。水が流れる音や、水に触れることで涼しさを感じさせる空間となる。人々が集まり、井戸端会議が始まる。

信号機の柱が木に・・・



街中には多くの信号機や標識が存在する。信号機や標識は人が認知しやすい高い場所に設置されている。お寺にある高いもの『木』に信号機、標識を設置することで街中に緑を増やす。

マンションに五重塔の屋根をつけると・・・



建物に五重塔の屋根をかける。屋根をかけることで建物が日光に面する面積は増える。その屋根にソーラーパネルを設置すれば、その建物は多くのエネルギーを蓄えることができる。

日常に溶け込む仏様



空き店舗などを利用して、まち全体に金堂や地蔵を配置する。寺町の象徴として、人々に親しまれ、風情のある雰囲気を持つ空間を構成する重要な要素となる。